



◎品種全般的に、例年よりも「胴サビ」が多い状況です。(特に秋映)

また、果形や肥大などの品質のバラつきが大きい状況です。

◎サビ果の「特別集荷」も視野に入れながら、集荷販売対策を進めてまいります。

まずは着果量の確保を優先し、サビ果の樹上選別が可能な場合は、なるべくサビの程度が軽く肥大の良い果実を残して下さい。

- ◆ 6/14に梅雨入りし、平年を上回る降水量を観測しております。(平年比：6月中旬170%、下旬110%)
- ◆ 梅雨は炭そ病・輪紋病の重要防除期です。昨年はこの期間に感染が拡大し、果実被害が発生しました。引き続き、一定の散布間隔で進めてください。また、降雨が続き、炭そ病の感染拡大が心配される場合は、果樹特報No5に記載の「特別散布」を実施して下さい。

7月中旬～中下旬(定期) *目安：前回から15日後

【7/中 定期】

散布時期：7月12～20日

散布日： 月 日

散布薬剤：水 100ℓ

散布量： ℓ

展着剤(ササラ) 50ml 【代替】ハイテンパワー10,000倍

ダニゲッターフロアブル 50ml(前日、1回)

㊟オリオン水和剤40 100g(前日、2回) *ご購入の際は、印鑑をご持参下さい

キノンドー顆粒水和剤 100g(14日前、4回)

散布量：10a当り 600ℓ

対象病虫害：炭そ病、輪紋病、斑点落葉病、褐斑病

ハダニ類、シンクイムシ類、ハマキムシ類、カイガラムシ類

注意事項

- ① **【薬害注意】** ダニゲッターフロアブルは、開花期の水稻やぶどうに薬害を生じるため、飛散しないよう注意する。
- ② **【代替】** キノンドー顆粒水和剤に代えて、オキシラン水和剤500倍(14日前、4回)でもよい

① 殺ダニ剤ローテーションについて

- ◆ 7月中旬(7/12～20頃)：ダニゲッターF2,000倍(中期的抑制効果あり・残効14日程度)
 - ◆ 8月上旬(7/27～8/4頃)：コロマイト乳剤1,000倍(速効的・成虫に効果高い・残効短い)⇒散布ムラがないように
 - ◆ 8月中旬(8/11～19頃)：オマイト水和剤750倍(成虫に効果あり・残効やや短い)⇒ダニ退治の締め
- ② ダニサラバ・スターマイト・ダニコングは同一薬剤系統である。抵抗性回避のため、いずれかを年1回のみ使用とする。
 - ③ ダニゲッター(ダニサラバ)は成虫に対してやや遅効的効果を示す。散布7日後以降に効果が発現する。

お知らせ(もも生産者大会の中止について)

新型コロナウイルスの情勢を鑑み、もも生産者大会を中止とさせていただきます。

本年も皆様のご出荷をお願い申し上げます。